

特集 野生鳥獣と向き合う

当市は北上川と和賀川の合流地点にあり、美しい田園や山々が連なる緑豊かな自然に囲まれています。その自然の中で暮らす野生鳥獣が人里へ出没して被害を及ぼすなど、私たちの日常生活に大きな影響を与えています。未然に被害を防ぐために私たちに何ができるのか、一緒に考えてみませんか。

問い合わせ 農業振興課 ☎0197-72-8238

鳥獣被害の現状

大 切に育ててきた農作物が食べられたり、豊かな森林が荒らされたりするなど、私たちの生活圏にも影響を与えている野生鳥獣。近年では、クマが人里に出没することが常態化し、人に危害を加えるニュースを目にすることも多くなりました。

令和3年度における全国の被害は、クマによる人身被害件数が80件で、本県や秋田県で増加傾向にあります。



人身被害件数
80件

農作物被害額は約155億円で全体の約7割がシカ、イノシシ、サルとなっており、平成25年度から減少傾向にはあるものの、ここ数年は横ばいで被害は依然として甚大です。



農作物被害額
約155億円

枝葉の食害や樹皮の剥がれなどの森林被害も深刻で、被害面積は全国で年間約5000ヘクタールとなっており、シカによる被害が約7割を占めています。



森林被害面積
年間約5000ha

被害が発生する主な要因は、「放置している作物などが餌になっっている」「加害個体を捕獲できていない」「野生鳥獣が隠れる場所がある」などです。



市ではさまざまな対策をしていますが、すぐに効果が出るものではありません。鳥獣被害を減らすために、どのような取り組みが必要なのか一緒に考えてみましょう。

出典：農林水産省全国の野生鳥獣による農作物被害状況について、環境省クマ被害対策等に関する関係省庁連絡会議配布資料

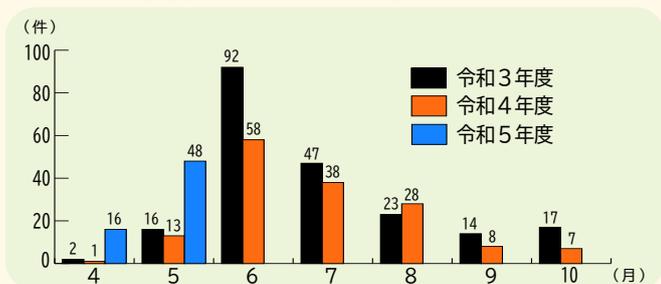


市内の現状と取り組み

市

市内のクマ出没件数は、令和3年度が216件、4年度は155件が確認されました。例年6月から8月にかけて出没件数が多く、昨年度は和賀町岩沢で木の伐採作業をしていた男性が、和賀町長沼では散歩中の女性がクマに襲われる人身被害が発生。今年5月には市内小学校付近に出没し、県は平成28年以来、7年ぶりにツキノワグマの出没に関する警報を発表しました。

■当市のクマ月別通報件数（令和5年5月末時点）



※11～3月は冬眠により目撃情報が少ないため省略しています。

市の取り組みとしては、北上市鳥獣被害対策実施隊を設置しています。本年度は20代から80代までの猟友会員で構成する隊員77人を委嘱。定期的なパトロールや、イノシシ、シカ、カ



イノシシによる被害があった和賀町岩崎新田の田んぼ

こうした被害に対する取り組みは、市や猟友会、農業協同組合などで構成する「北上市鳥獣被害対策連絡協議会」を中心に各機関が連携しながら実施しています。

主な取り組みとして、シカやイノシシによる被害や作物の踏み倒し被害を防ぐための電気柵設置、捕獲強化のための箱わな導入、カワウによるアユなどの被害を防ぐための河川敷の刈払いや樹木の伐採などがあります。

豊かな自然に囲まれている当市では、野生鳥獣との関わりは避けることができません。市内では鳥獣被害を減らすため、さまざまな取り組みが行われています。活動内容を理解し、私たち一人一人が野生鳥獣と向き合い、被害を防いでいきましょう。



シカが出没する平沢地区に箱わなを設置。周辺の田んぼは電気柵で覆われている

ラスなどの捕獲活動、クマによる被害発生時の緊急捕獲わな設置などを行っています。依然として野生鳥獣による農業被害などが発生している状況です。また、銃の所持などに関する不安の声や、カラス駆除時に聞こえる発砲音から警察へ通報されるなど、市民に活動内容が知られていない点も悩ましいところです。

協働の取り組みで農作物被害と捕獲頭数が10分の1に！

～盛岡市猪去地区の事例をご紹介します～

平成18年度の記録的なクマ大量出没（盛岡市全体26頭、うち猪去地区13頭）をきっかけに連携が不十分だった自治会や関係団体（大学関係者、猟友会、行政）が集まって協議。保護の理解、追い払いの徹底、経費と労力の確保などを話し合い、全体で目標を共有し、官民学協働で対策に取り組みしました。

主な対策は▼広範な電気柵の設置（山治いの果樹園地一帯。水路は電気すだれで対策）▼電気柵周辺の除草活

動（自治会や関係団体などが協働で年3回実施）▼緩衝帯の整備（防風林と果樹園地を区別）▼被害防止対策に係る研修会（年1回地域住民など約60人が参加）です。

平成28年度に県内でツキノワグマ出没に関する警報が発表されましたが、官民学協働の活動が定着したことにより、猪去地区では農作物被害は2件、捕獲頭数は1頭のみと効果が表れました。



出典：農林水産省鳥獣被害対策事例

人と動物が適度な距離を 保てる関係を築いてほしい

クマは、人とぼったり出合ったときや、子グマを守るために襲いかかってくる場合がありますが、基本的には温厚で臆病な動物です。地方では少子高齢化や人口減少で里山が管理されていなかったり、耕作放棄地が増えていることから、クマだけではなく野生動物が非常に出没しやすく、人との距離がものすごく近くなっています。

野生動物と適度な距離を保つことで被害は基本的に防ぐことができます。そのためには、生態を理解し、隠れ家となる草の除去や不要な樹木の伐採、電気柵の設置などの対策を地域全体で取り組む必要があります。それでも被害がでるようであれば猟友会に協力してもらい駆除も含めた体制をとるなど、いくつかの手段を同時並行しながら共存できる方法を探してほしいです。



岩手大学農学部森林科学科 准教授
山内 貴義さん

クマやイノシシ、シカなど野生動物の研究を行う



和賀西小で行われたクマ対策講座。クマの生態やいざというときの対処方法を説明

自らを守る小さな対策が 全体の大きな効果につながる

猟友会（実施隊）は、クマが出没すると仕事の手を休めて出勤しなければならぬこともあり、それぞれが手分けをして日々活動に取り組んでいます。捕獲活動は、簡単そうに見えますが法律で厳しく定められており、周囲の安全などに気を付けなければいけません。私たちの活動には制限があるので、農業被害などは市民の皆さんにも意識を持って協力してもらいたいです。

被害は家庭菜園など小さなところから始まり



赤色のビニールテープで防御する口内町芦沢地区の畑。風などで揺れる音も効果的



北上市猟友会 会長
（兼 北上市鳥獣被害対策実施隊 隊長）
鶴山 博さん

エアコン取り付け業の仕事の傍ら、有害鳥獣の被害対策に励む

野生鳥獣の生態



クマ

食べ物は植物中心ですが、昆虫や動物の死骸なども食べます。足が速く木登りが得意で、鼻や耳も良いですが、目はあまり良くありません。



シカ

草食性でさまざまな種類の植物の葉や樹皮を食べます。日中は森林に、夜間は人里に下りますが、慣れると日中も人里に姿を現します。



イノシシ

主に植物を中心とした雑食です。農作物を食べるだけでなく、踏みつけや掘り起こしをします。50~60kgのものを持ち上げる力があります。



カラス

種類により、好物が肉類と植物に分かれます。とても頭がよく、鳴き声で仲間との意思疎通を行ったり、人間の行動をよく観察しています。

鳥獣対策の鉄則「三つの柱」

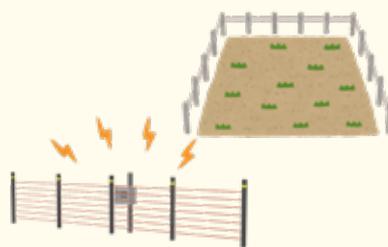
地域ぐるみで徹底してできるかが、対策の効果を左右します。その対策が大きな力に！

👉 個体群管理



市は、鳥獣保護管理法に基づき、許可を得て捕獲活動を行っています。農作物に被害を及ぼす増えすぎた野生鳥獣の個体数を減らすことで、全体の被害程度を短期的、緊急的に軽減させることができます。

👉 侵入防止対策



電気柵は農地への侵入を防ぐために効果的です。実施しない地帯が一つでもあると、野生鳥獣は学習し、電気柵のないエリアから侵入してくるため十分に機能が発揮できません。地域全体で防除に取り組む必要があります。

👉 生息環境管理



草木が生い茂り、見通しが悪いと、隠れ場所や餌を食べる場所になります。また、生ごみやお供え物、収穫しない果実を放置すると野生鳥獣の餌になります。除草や放任果樹の伐採をするなど環境の整備が必要です。

出典：農林水産省鳥獣被害の現状と対策（令和5年5月）

各種サービスや事業を活用して更に鳥獣対策！！

🐾 各種補助金

電気柵の購入費や狩猟免許試験受験料の一部を補助します。詳しくは、市のホームページをご覧ください。



電気柵設置
事業費補助金



狩猟免許
受験料補助金

🐾 クマ出没情報メール

出没情報を「いわてモバイルメール」でお知らせしていますので、右記から登録してください。



🐾 被害防止資器材の貸し出し

小型鳥獣（タヌキやハクビシンなど）用箱わなやクマ出没看板の貸し出しをします。詳しくは、農業振興課までお問い合わせください。

🐾 鳥獣被害対策講座（出前講座）

希望者に対し野生鳥獣による被害対策講座（メニュー番号No.181~183）を随時開催しています。申し込み方法など詳しくは、市のホームページをご覧ください。

